

第4学年〇組 学級活動(1)指導案

令和元年〇月〇日 (〇) 第〇校時
授業者 〇〇 〇
男子〇名 女子〇名 合計〇名

1 議題「チームワークパワーアップの会をしよう」 ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 議題について (1) 児童の実態

事後の活動では友達と協力しながら自分の役割を果たすことができている。振り返りカードには「遊びの説明の人が演技をつけて説明してくれたので分かりやすかった。」「困ったときに〇〇さんが小さな声で教えてくれた。」「みんな笑顔で楽しめたのがよかった。」などの記述があり、活動を通して、学級の仲間のよいところや学級全体で取り組むことの良さを感じている児童が多い。一方で「もっとキビキビ行動したい。」「仲のよい人だけでなく、いろいろな人と関わりたい。」など、自己を振り返って反省する記述もあり、よりよい学級活動を目指し、工夫を重ねているところである。

(2) 議題選定の理由

本議題は、今までの学級の様子の子の振り返りを受けたものである。振り返りでは、学級のよいところや児童がもっとよくしたいところが明らかになった。「問題点を解決して、4年〇組のチームワークをもっと深めたい」という児童の提案により、本議題を設定した。

本議題の話合い活動では、学級児童のアンケート結果を提示することで議題への必要感を持たせたい。自分が出した意見だけでなく、友達が出した意見についても発言できるように、提案理由と児童の意見をあらかじめ提示し、出された意見について考える時間を確保したい。小グループで話し合い、出された意見について自由に考えを交流する時間をもつ。また、自分の意見に自信をもって学級会に臨めるように、教師が称賛や励ましのコメントを書いた学級会ノートをあらかじめ配布しておく。合意形成の仕方については習得途中の段階であるため、合意形成の仕方を選ぶことができるように、いくつかの選択肢を教室に掲示しておく。

3 研究主題との関わり

【研究主題】 「互いによく聴き よりよく考え 自分の思いを表現できる児童の育成」
～ 特別活動を基盤とした学力向上 ～

【目指す児童像】

- 自ら学び、考え、主体的に判断・行動し、自分たちで諸問題を見出し、解決できる児童。
- 多様な他者と折り合いをつけ、それぞれの役割を果たしながら、協力して豊かな学校生活を創造することができる児童。

【研究の視点並びに具体的な手立て】

(1) 生活上の課題を見出し、多様な意見を生かして合意形成を図り、他者と協働しながら学級や学校生活の向上を図る学級活動の展開。

<互いによく聴く>

- ① 必要感のある議題の選定…学級生活アンケートをもとにして、児童のよりよい学級・学校生活づくりにおいて、必要な課題が見出せるようにする。
- ② 関連発言の重視と意見の種類…単発の発言ではなく、関わりやつながりを重視した話合いが展開できるようにする。

<よりよく考え>

- ③「決まっていること」の明確化…話し合いを焦点化するとともに、よりよい合意形成を図ることができるようにする。
- ④少数意見の生かし方…少数の意見も大切に、多くの意見を生かし合えるようにすることで支持的な風土を醸成する。
- ⑤反対意見の明示…反対意見を短冊で示すことで、その意見の解決に向けた話し合いを深められるようにする。
- ⑥実践までを見通した話し合い…準備や当日までの予定を示し、見通しをもった話し合いができるようにする。

<自分の思いを表現>

- ⑦3つの段階に分けた話し合い…話し合いを焦点化し、児童が分かりやすく思考・判断・表現することができるようにする。
- ⑧ふり返り活動までを重視…ふり返りカードを用いて、自らの頑張りや仲間の頑張り、学び得たことについてふり返り、活動の記録を蓄積する。

本時では、①、⑤、⑥に重点を置き、授業を展開する。

4 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。	楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割をはたして集団活動に取り組もうとしている。

5 事前の活動

【計画委員会の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】
○月○日 昼休み	・議題を選定する。 ① 「チームワークパワーアップの会をしたい」 ② 「長縄の練習をしたい」	・各提案の扱いを明らかにし、提案者に伝えられるようにする。 ・選定した議題について全員に知らせ、承認を得る。	◎よりよい学級づくりのために進んで議題を選ぼうとしている (主体的に取り組む態度) 【観察】
○月○日 30分休み	・活動計画と学級会ノートを作成する。	・みんなが理解できる提案理由になるように助言する。	◎計画委員の役割、みんなと関わり合う会の工夫を話し合わなければならないことを理解し、行動している。 (知識・技能) 【活動計画、観察】
○月○日 昼休み	・全員の学級会ノートに目を通す。	・話し合いの見通しがもてるように意見を整理させ、まとめ方について助言する。	
○月○日 30分休み	・役割の確認をする。	・それぞれの役割で自分のめあてが言えるように指導する	

【学級全員の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】
○月○日 帰りの会	・議題の決定をする。	・計画委員会の提案をもとに全員で決定する。	◎よりよい学級づくりのために進んで議題を考えたり、選んだりしようとしている。 (主体的に取り組む態度) 【観察】

○月○日 帰りの会	・学級会ノートに自分の考えを記入する。	・決まっているが共通理解できるよう必要に応じて助言する。	◎目的に合った意見を考え、判断し、学級会ノートに書くことができる。 (思考・判断・表現) 【学級会ノート】
○月○日 朝の活動	・出された意見について小グループで意見交換をする。	・どんな意見が出されているのか確認し、自分の考えを持つよう助言する。	
○月○日 朝の会	・教師からの言葉等が書かれた学級会ノートを受け取る。	・学級会ノートに励ましの言葉等を記入し、話合いの意欲を高める。	

6 本時の展開

(1) 本時のねらい

- ・話し合い活動を通し、学級生活をより楽しく豊かなものにするために工夫していこうとする意欲や態度を育てる。
- ・出された意見に対して、理由などを比べ合いながら話合いを進め、学級の問題点を改善して学級をよりよくする集会活動の計画について考えられるようにする。

(2) 児童の活動計画 <別紙>

7 教師の指導計画

話し合いの順序	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (観点) 【評価方法】
1 はじめの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由の説明 5 めあての確認 6 決まっていることの確認	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい雰囲気話し合えるよう見守る。 ・自分の役割に向けてのめあてを発表させることで、役割への意識を高める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> チームワークパワーアップの会をしよう </div> <ul style="list-style-type: none"> ・提案理由の中で、特に大切なキーワードとなる言葉を図式化することで話し合いの指針となるようにする。 ・アンケート結果を提示し、皆が感じている学級の問題について理解し、話し合う必要感をもたせる。 ・提案理由をまとめたものであるため、全員で声に出して読み、意識付けを行う。 ・決まっていることを確認し、共通理解のもとに話し合いが行われるようにする。 	
〈決まっていること〉 <ul style="list-style-type: none"> ・日時 ○月○日 (○) ○時間目 ・場所 4の○教室 ・プログラムは掲示の通り 遊びは(関所じゃんけん) ・準備は○日 (○) の朝活(15分)と26日 (○) の学活1時間(45分) ・柱①の工夫は1こ決める ・工夫に使える時間は15分間 		
7 先生の話	<ul style="list-style-type: none"> ・提案理由の意識付けを行うとともに、話し合いの中心を伝える。 ・前回の学級会を振り返り、よかったところや課題を踏まえて話し合えるように伝える。 ・3段階討議法を意識させ、話し合いは、「くらべ合う」段階から始まることを確認する。 	

<p>8 話し合い</p> <p>① いつも関わらない人とも話せる工夫 (25分)</p> <p>② 役割分担 (10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いは「くらべ合う」段階から進められるよう、あらかじめ小グループで話し合い、出された意見について自由に考えを交流する時間をもつ。 提案理由を意識した発言や理由が明確な意見、友達の発言を受けた意見を称賛し、意図的に意識できるよう助言する。 プログラムを掲示し、集会の内容や流れを確認できるようにしておく。 アンケート結果を掲示し、学級の問題が解決できるように助言する。 司会グループが困っているときや話の方向がずれた時、子どもたちの自治的範囲を超えそうな時などは、積極的に助言する。 時間を意識して話し合わせ、自分だけでなく、みんなにとってよい意見を考えるよう助言する。 仲間の意見を聞き、納得した上で自らの考えを変えることは必要であることを助言する。 「(物をつくる系の意見)」に対して、安易な合意形成に向かいそうな場合は「準備時間が十分か」等の助言をする。 「(遊びのルールを変える系の意見)」に対して、安易な合意形成に向かいそうな場合は「本番中に実現可能か」等の助言をする。場合によっては、その場で実践して体感させる。 話し合いが停滞した場合には、合意形成の手段(意見のまとめ方:アイスの図)を参考にしよう助言する。 各役割の人数が適正になるよう、司会を中心に人数調整を行う。 	<p>◎意欲的に自分の意見を発言しようとしている。 (主体的に取り組む態度)【発言・観察】</p> <p>◎提案理由をもとに友達の意見を参考にしながら、自分の意見を考えたり、改善案や折衷案を出したりしている。 (思考・判断・表現)【観察・発言・学級会ノート】</p> <p>◎合意形成を図るための意見の比べ方やまとめ方を理解している。 (知識・技能)【観察】</p>
<p>9 決まったことの確認</p> <p>10 ふりかえり</p> <p>11 先生の話</p> <p>12 おわりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ノート記録に、大きな声で発表できるよう指導しておく。 学級会の内容をふり返り、自己評価する。 出された意見に対して理由などを比べ合った発言等を称賛する。 計画委員の活動を称賛するとともに、次回の学級会の課題と今後の活動に向けて見通しを確認する。 	

8 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】
○月○日(○)朝活 ○月○日(○)学活	<ul style="list-style-type: none"> 各自、各グループが活動計画を立て準備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に活動している児童、協力している児童等を称賛する。 決めたことを守り、進んで活動できるように見守る。 	◎他の児童と協力し、進んで集団活動に取り組もうとしている。 (主体的に取り組む態度)【観察】
○月○日(○) ○時間目	<ul style="list-style-type: none"> 「チームワークパワーアップ集会をしよう!」 実践終了後、感想を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動全体をふり返り、自分のがんばりや友達のよいところについても認められるように助言する 	◎チームワークアップの会の目的を考え、めあてを意識しながら準備したり参加したりしている。 (思考・判断・表現)【観察・ふりかえりカード】

